

# デジタル化の早期 着手のメリットと 先延ばしリスク



## デジタル化の早期着手のメリットと先延ばしリスク

01 はじめに

02 デジタル化の重要性

03 中小企業におけるデジタル化の  
現状

04 早期着手のメリット

05 先延ばしのリスク

06 効率化の事例と成功体験

07 デジタル化の進め方

08 外部支援の活用

09 お気軽にお問い合わせ下さい

デジタル化は中小企業にとって競争力強化の鍵です。  
早期着手が成功の重要要素です。



### 中小企業の現状

多くの中小企業はデジタル化の進捗が遅れており、競争力を維持するためには迅速なデジタル化が必要です。



### デジタル化の重要性

デジタル化は業務の効率化、市場への迅速な対応、そして顧客満足度の向上をもたらし、企業の競争力を強化します。

デジタル化は効率化を推進し、市場競争力を強化し、顧客満足度を向上させるために不可欠です。



### 効率化の推進

デジタル化により業務の自動化が進み、ヒューマンエラーが減少します。さらに、作業時間を短縮し社員の生産性を向上させることができます。



### 市場競争力の強化

データ分析の迅速化と正確性が向上し、競合他社よりも早く市場の変化に対応できます。これにより、競争優位性を確保することが可能です。



### 顧客満足度の向上

デジタル技術を駆使して、パーソナライズされたサービスを提供することで、顧客の期待に応えることができ、ロイヤルティを高めることができます。

多くの中小企業がデジタル化に取り組んでいますが、コストやリソース不足などの障壁があります。



### デジタル化の進捗状況

現在の統計データによると、中小企業の40%が何らかのデジタルツールを導入しています。しかし、全体の20%しか本格的なデジタル化を完了していません。



### 主な課題

中小企業がデジタル化に取り組む際、最も大きな課題はコストです。また、専門知識やリソースの不足もデジタル化を進める上での大きな障壁となっています。



### デジタル化の障壁

技術的な課題も多く、特に効果的なデジタルツールの選定や導入後の運用が難しいと感じている企業が多数です。

デジタル化に早期着手することで、大幅なコスト削減と柔軟なビジネス対応能力が得られ、市場での競争優位性を確保できます。



Our Goal 01

### コスト削減

デジタル化を早期に導入することで、業務プロセスの自動化や効率化が進み、運用コストを最大30%削減することが可能です。特に人件費と時間の削減が顕著です。



Our Goal 02

### 柔軟性の向上

デジタル化により、企業は市場環境の変化に迅速に対応が可能となります。これにより、顧客のニーズに即応する体制を整えることができます。



Our Goal 03

### 競争優位性の確保

早期にデジタル技術を導入することで、他社に先駆けたサービス提供や市場参入が可能となり、競争優位性を確保することができます。

デジタル化を先延ばしにすると、競争力の低下、顧客離れ、コスト増大のリスクが高まります。



### 競争力の低下

デジタル化が遅れることで、迅速な情報処理やデータ分析ができず、競争力が著しく低下します。市場での優位性を失う可能性があります。



### 顧客離れ

顧客のニーズに迅速に対応できない場合、顧客満足度が低下し、他社製品やサービスに流れるリスクが高まります。



### コスト増大

問題が深刻化する前に対処しないと、後になるほど大規模な投資が必要となり、コストが増大する可能性があります。

# デジタル化によって効率化を達成した中小企業の事例を紹介し、その成功要因を具体的に説明します。

### 成功事例の概要



株式会社Aは、デジタルツールの導入により販売管理と在庫管理の効率化を図り、業務時間を25%削減しました。

### 導入の効果



導入初年度における売上が10%向上し、顧客満足度も高まり、リピート率が15%増加しました。

### 成功要因



社員のスキルアップとともに、適切なツール選定と継続的な運用見直しが成功の鍵となりました。



# デジタル化を成功させるための初期段階のステップと有効なツールの活用方法を解説します。



### 初期段階のステップ

デジタル化の初期段階として、現状分析、具体的な目標設定、実行計画の策定を行います。これにより、進行方向を明確にし、計画の実行が容易になります。



### デジタル化を支援するツール

効率的なデジタル化には、クラウドサービスやデータ分析ツール、プロジェクト管理ツールを活用することが重要です。これにより、業務の効率化と迅速な意思決定が可能になります。

デジタル化の推進には外部専門家と公的支援策を効果的に活用することが重要です。

01



### 外部専門家の活用

外部専門家を活用することで、専門知識や経験を活かしてデジタル化プロジェクトを効率的かつ効果的に進めることが可能です。

02



### 公的支援の利用

政府や自治体の公的支援策を活用することで、資金面や技術面でのサポートを受けることができ、デジタル化への負担を軽減できます。

デジタル化を早期に開始し、競争力を強化する。  
そのための具体的なアクションを今すぐ始めましょう。

01

#### 早期着手の重要性

デジタル化の早期着手はコスト効率を高め、競争力を向上させます。先行者利益を得るために今すぐ行動しましょう。

02

#### 先延ばしのリスク

デジタル化を先延ばしにすることで、競争力が低下し、顧客が他社に流れるリスクが増加します。早期対応が求められます。

03

#### 具体的なアクション

デジタル化を進めるための初期ステップを設定し、適切なツールや外部支援を活用して実行計画を立てましょう。

## 参考サイト

<https://www.keihi.com/column/32931/>

<https://info.securesamba.com/media/11822/>

<https://www.stock-app.info/media/digitalization/>

<https://go.chatwork.com/ja/column/efficient/efficient-073.html>

01switchでは、安価なデジタルツールを使い、お客様に合わせたDX・デジタル化を進めています。多くの実績もあります。

最近では、デジタル化+AIの活用で更に効果を上げている支援会社もあります。ぜひ、ご相談下さい。公式サイトから問い合わせが可能です。

<https://www.01switch.jp/>